

医療を変えて行く力に

函南の地で由井代表と頑張る 片野 JA 組合長

各講師を務めた方々のコメントは次の通り・

由井寅子代表 人間、動物、植物、地球が自然体に戻れるようにはどうしたらよいか、それを考えていくことが今回のテーマだったと思う。そのためには、まず私たちが気に影響を与える自分の想念に責任を持ち、今の自分に幸せだと思えるようになりことが求められる。

小谷宗司氏 自分の職能から得た知識を、これからの日本の農業や医療のために役立てるように積極的にシェアしていきたい。この集まりが、日本の医療を変えていく力になることを期待している。

大下伸悦氏 超高齢円熟社会を迎えた日本は、地球が減ばないために選ばれた聖の集団である。創造意識がすべてであるので、依存することなく主体性を持って生きなければならない。農業を自分でやれなくても、本物の農業の推進を応援すべき。本物の生き方と積極的につながっていかなければならない。

成瀬一夫氏 これからは薬に頼らないで食で健康になる時代。マスコミの使命として、由井代表の豊受自然農、そして自然農を側面から応援していきたい。

片野敏和氏 3, 40年前から自然農に取り組み、遺伝子組み換えへの対応も早くから行ってきた。自分の子供、孫に食べさせても大丈夫なものを供給するのが私の使命。函南の地で由井代表と共に頑張ってやっていきたい。

佐倉直海氏 科学の枠組みではありえないことが現実には起こっている。目をしっかり開いて取り組んでいかなければ、健やかな大地を取り戻すことはできない。たくさんの新しい技術が動き出す時代。官も民も市民も企業も、それぞれが得意とする分野で協力しあい次に進んでいくことを願っている。

飯島秀行氏 食卓における花、寝室においても無害な花作りを目指して30数年。本日のシンポジウムに参加して、真実を追求すると皆同じ道を歩いて行く、ということを確信した一日だった。